



市民しんぶん山科区版

4号

やましな

心豊かな
人と緑の“きずな”のまち
山科

山科区シンボルマーク

区役所HP <http://www.city.kyoto.lg.jp/yamasina/>

平成23年度 山科区の主な関連事業

平成23年度の市の予算の中から山科区関連の主な事業を紹介します。
今年度からは、今後10年間の山科区のまちづくりの指針となる「第2期山科区基本計画」の5つの基本施策の実現に向けて、区民の皆様と共に、着実に進めていきます。

保健・福祉・子育て支援

- 京都市音羽児童館の整備 —
校舎を活用し、学童クラブ機能を有する一元化児童館を整備。
- 大宅保育園の整備(新規) —
待機児童の0(ゼロ)を目指すため、老朽改築及び定員増(250名→270名)を実施。
- 快適トイレ整備事業 —
山科中学校及び勧修中学校(平成23年度中に完成予定。)
- 運動場改修工事(新規) —
安祥寺中学校の運動場を改修。(平成23年度中に完成予定。)

環境

- 焼却灰溶融施設の運営 —
クリーンセンターから排出される焼却灰を高温で溶かして、冷却固化、減容化・安定化させる施設を運営開始。
ごみの最終処分量を大幅に削減。
- 低炭素のモデル地区「エコ学区」事業 —
低炭素社会の実現に向けた先進的な取組を実践するモデル学区を区ごとに選定。
選定された「エコ学区」では、2年間にわたり、省エネ活動やライフスタイル転換につながる実験的な事業に取り組む。

まちの魅力・観光

- 皆で灯そう「陶灯路」! —
「陶灯路」魅力発信プロジェクトの実施(新規) —
清水焼の器に水を張り、中に切り子硝子のガラスを置き、その中にカップろうそくを灯し、並べていく灯りイベント「陶灯路」において使用する器を自分で制作し、観光イベント等において飾るとともに、「陶灯路」の存在を区内外にPR。

地域のつながり

- 山科区獣害対策チームの運営(新規) —
近年のサル、イノシシやシカ等の出没及び被害の増加を踏まえ、防除の在り方に関する学習会の開催、中型及び大型の檻の設置、被害の大きい地域をモデル地区と位置付けての、フェンスやネットの貸出。
- 地域の安心安全ネットワーク形成 —
総合的なネットワークの構築の推進(継続)

交通・都市基盤

- 歩道整備 —
・安祥寺川沿いの道路に歩道を整備するための詳細設計に着手
・小野小学校の西側の水路に蓋をし、歩道を整備するための工事に着手
- 事故危険箇所対策 —
(外環東の交差点付近、外環小野西～中山団地交差点付近)
- 橋りょう補修事業 —
・防護柵の取り替えと橋の裏面や下部工の補修を引き続き実施(高岩橋、天神橋)
・橋りょう調査及び詳細設計に着手(四ノ宮高架橋)
- 道路用地分筆測量費助成 —
道路管理の移管に向け、認定道路または里道として市に寄付いただくための分筆測量費に対する助成。(小金塚地域)
- 河川改良事業 —
・竹田川の改修工事に着手
・旧安祥寺川における浸水被害を防ぐための改修工事を引き続き実施
- 山科市営住宅トータルリモデル —
居住性向上を目的とした改善工事。

新任のご挨拶

山科区長
石黒 善治

3月11日の東北地方太平洋沖地震で被害を受けられた皆様にお見舞い申し上げます。また、お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り致します。

私は、この度、山科区長に就任いたしました石黒善治と申します。

昨年度、山科区では、たくさんの皆様のお力と英知を結集した「第

2期山科区基本計画」が策定されました。今年度は、この10年間の計画をスタートさせる大切な年です。与えられた重責に身の引き締まる思いでいっぱいでございます。

「第2期山科区基本計画」にあります「心豊かな人と緑の“きずな”のまち 山科」の実現に向け、様々な取組に全力を尽くして参りますので、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

東北地方太平洋沖地震で被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。

東北地方太平洋沖地震災害について

義援金の受付

受付場所 区役所・支所、地下鉄各駅、図書館、市立学校他
問合せ先 「京都いつでもコール」(☎661-3755)年中無休
午前8時～午後9時

被災者支援のための無償提供住宅を募集

提供いただきたい住宅 ○住宅として使用するのに支障なく、直ちに入居可能なもの
○無償で原則6カ月以上ご提供いただけるもの
問合せ先 被災者向け住宅情報センター提供住宅受付窓口
(☎366-2122)午前9時～午後5時